

はじめに

農業は、国民生活に不可欠な食料を供給する機能等を有しており、また、農村は、農業の持続的な発展の基盤たる役割を果たしています。

その一方で、農業・農村は、人口減少に伴う国内市場の縮小や生産者の減少・高齢化等の問題に直面しています。このため、若い世代の方々に農業を身近に感じてもらい、農業が次世代の人達に引き継がれるように、意欲と誇りを持って活躍できる魅力ある産業とすることが必要です。

令和2年3月に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」では、若い人に農業の魅力を伝え、将来的に農業を職業として選択する人材を育成するため、農業高校・農業大学校等の農業教育機関において、先進的な農業経営者等による出前授業、現場での実習、農業生産工程管理（GAP）に関する教育、企業や他の教育機関、研究機関等と連携したスマート農業技術研修等、実践的・発展的な教育内容の充実やそのための施設・設備等の整備を進めることとしています。また、地域農業のリーダーとして活躍し、経営感覚や国際感覚を持つ農業経営者を育成するため、産業界や海外と連携した研修・教育や、農業大学校等の専門職大学化などの農業教育機関の高度化を推進することとしています。

令和3年5月に決定された「みどりの食料システム戦略」では、労働安全性・労働生産性の向上と生産者のすそ野の拡大を目的に、農業大学校、農業高校等の学生・生徒や幅広い世代の就農希望者等に対し、生産性向上、労働安全、環境に配慮した農林水産業などの教育を推進することとしています。

当拠点では、那須拓陽高等学校の課外活動（部活動）のクラブである「牛部」の生徒との意見交換をきっかけに、平成29年度から農業高校等と連携して、就農意欲を喚起する取り組みを開始し、県内の農業高校の取り組みを「百花繚乱」として毎年発行しています。本誌のタイトルである「百花繚乱」の意味には、「いろいろの花が咲きみだれること」

「すぐれた人物や業績などが一時に多くでること」と手元の使い古した辞書に書かれています。このような思いを込め、本冊子では、実践的な学習により豊かな人間性と基礎的な知識・技術を習得し、進路実現に果敢にチャレンジしている栃木県内の農業関係高校生等の取り組みを紹介しています。

本冊子が、農業関係者をはじめ消費者や流通・加工業者、小売業者、教育関係者、また、中学生など幅広い方々の目に触れ、農業関係高校の取り組みへの理解が深められ、更には、一人でも多くの若者が意欲を持って農業を学び新規就農の契機となれば幸いです。

最後に、本冊子の作成に当たり、多大な御協力を賜りました関係者の皆様方に、心より感謝申し上げます。

令和6年3月

農林水産省 関東農政局栃木県拠点

目 次

CONTENTS

1	栃木県の農業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	栃木県内の農業関係高校等の所在図・学科名（定員）・・・・・・・・	2
3	栃木県における農業関係高校の区分と学科別学習内容・・・・・・・・	3
4	農業高校生の意識調査・・・・・・・・・・・・・・・・	4
5	栃木県内の農業関係高校の紹介（学科別）	
（1）	栃木県立宇都宮白楊高等学校	
	・農業経営科・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	・生物工学科・・・・・・・・・・・・・・・・	10
	・食品科学科・・・・・・・・・・・・・・・・	11
	・農業工学科・・・・・・・・・・・・・・・・	12
（2）	栃木県立鹿沼南高等学校	
	・食料生産科・・・・・・・・・・・・・・・・	13
	・環境緑地科・・・・・・・・・・・・・・・・	14
（3）	栃木県立小山北桜高等学校	
	・食料環境科・・・・・・・・・・・・・・・・	15
（4）	栃木県立栃木農業高等学校	
	・植物科学科・・・・・・・・・・・・・・・・	16
	・動物科学科・・・・・・・・・・・・・・・・	17
	・食品科学科・・・・・・・・・・・・・・・・	18
	・環境デザイン科・・・・・・・・・・・・・・・・	19
（5）	栃木県立真岡北陵高等学校	
	・生物生産科・・・・・・・・・・・・・・・・	20
	・農業機械科・・・・・・・・・・・・・・・・	21
	・食品科学科・・・・・・・・・・・・・・・・	22
（6）	栃木県立那須拓陽高等学校	
	・農業経営科・・・・・・・・・・・・・・・・	23
	・生物工学科・・・・・・・・・・・・・・・・	24
	・食品化学科・・・・・・・・・・・・・・・・	25
（7）	栃木県立矢板高等学校	
	・農業経営科・・・・・・・・・・・・・・・・	26

6	栃木県立馬頭高等学校の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	27
7	栃木県内の農業関係大学の紹介	
(1)	栃木県農業大学校・・・・・・・・・・・・・・・・	29
(2)	国立大学法人宇都宮大学農学部・・・・・・・・	31
8	T o p i c s	
(1)	農高生によるG A Pチャレンジ！・・・・・・・・	34
(2)	日本学校農業クラブ連盟（F F J）の活動・・・・・・・・	35
(3)	栃木県内農業関係高校	
	「令和4年度 食料・農業・農村白書」説明会を開催！・・・・	36
(4)	宇都宮白楊高校が【みどり戦略学生チャレンジ】に挑戦！・・・・	37
(5)	各高校に導入された農業用機械の紹介・・・・・・・・	40
(6)	各高校におけるスマート農業の取り組み・・・・・・・・	43
(7)	各高校における商品開発・・・・・・・・	48
(8)	栃木県林業大学校・・・・・・・・	50
9	関東農政局栃木県拠点の取材日誌・・・・・・・・	54
10	参考資料・・・・・・・・	62
	※農林水産省の役割	
	※関東農政局のお仕事	
	※【全国版・第1回】みどり戦略学生チャレンジ	
	※最後に	

栃木県の農業の概要

栃木県

は、関東地方の北部に位置し、日光連山や那須連山、八溝山系などの山岳地帯を抱える一方、南部には関東平野が広がり、那珂（なか）川、鬼怒（きぬ）川、渡良瀬（わたらせ）川が流れ、水資源に恵まれています。農業は、肥沃な土壌と豊かな水、穏やかな気候に恵まれ、米麦、畜産、園芸作物など多彩な農畜産物の生産が行われています。県では、県産農産物のブランド力向上に向けて、多彩な品種を有するいちご、丹精を込めて育て上げた「とちぎ和牛」、令和の大嘗祭に供納された米「とちぎの星」等を中心に、生産・販売・PR活動に取り組んでいます。

農業産出額上位5品目



特徴的な品目



地域の主要産品、特産品



主な農畜産物の産出額の全国順位（令和4年）

関東農政局「2023年度関東農業マップ」より

全国 順位	農業 産出額	米	麦類	野菜		果実	花き	肉用牛	生乳	豚	鶏卵
					いちご						
構成比（全国）		15.5%	0.7%	24.8%	2.2%	10.3%	3.9%	9.2%	8.8%	7.5%	6.3%
構成比（栃木）		16.9%	1.7%	27.6%	10.2%	3.0%	2.8%	9.0%	15.4%	10.6%	9.0%
1 位	北海道	新潟	北海道	北海道	栃木	青森	愛知	鹿児島	北海道	鹿児島	茨城
2 位	鹿児島	北海道	栃木	茨城	福岡	長野	千葉	北海道	栃木	北海道	鹿児島
3 位	茨城	秋田	福岡	千葉	熊本	山梨	福岡	宮崎	熊本	宮崎	岡山
4 位	千葉	山形	佐賀	熊本	長崎	山形	静岡	熊本	岩手	群馬	千葉
5 位	熊本	宮城	群馬	愛知	静岡	和歌山	長野	長崎	千葉	千葉	広島
6 位	宮崎	茨城	愛知	群馬	愛知	愛媛	茨城	岩手	群馬	岩手	愛知
7 位	青森	福島	埼玉	長野	茨城	熊本	埼玉	宮城	茨城	茨城	栃木
8 位	愛知	千葉	三重	栃木	佐賀	福島	北海道	栃木	愛知	栃木	青森
9 位	栃木	岩手	熊本	埼玉	千葉	静岡	鹿児島	沖縄	岡山	愛知	群馬
1 0 位	長野	栃木	岡山	福岡	宮城	岡山	熊本	茨城	宮城	熊本	北海道
						27位 栃木	15位 栃木				

農林水産省統計部「令和4年農業産出額及び生産農業所得」より

栃木県内の農業関係高校等の所在図・学科名（定員）



地図上の記号	所在地	学校名	令和 6 年度 【学部】 学科名（定員）
①	宇都宮市	宇都宮白楊高校	農業経営科・生物工学科・食品科学科・農業工学科（各 4 0 名）
②	鹿沼市	鹿沼南高校	食料生産科・環境緑地科（各 4 0 名）
③	小山市	小山北桜高校	食料環境科（4 0 名）
④	栃木市	栃木農業高校	植物科学科・動物科学科・食品科学科・環境デザイン科（各 4 0 名）
⑤	真岡市	真岡北陵高校	生物生産科・農業機械科・食品科学科（各 4 0 名）
⑥	那須塩原市	那須拓陽高校	農業経営科・生物工学科・食品化学科（各 4 0 名）
⑦	矢板市	矢板高校	農業経営科（4 0 名）
◇	那珂川町	馬頭高校	普通科（4 0 名）・水産科（2 5 名）
▲	宇都宮市	栃木県農業大学校	【農業生産学部】 農業総合学科（5 5 名）・畜産学科（1 5 名） 【農業経営学部】 いちご学科（1 0 名）
■	宇都宮市	宇都宮大学農学部	【生物資源科学科】（5 8 名） 【応用生命化学科】（3 0 名） 【農業環境工学科】（3 0 名） 【農業経済学科】（3 3 名） 【森林科学科】（2 9 名）

栃木県における農業関係高校の区分と学科別学習内容

(1) 農業関係高校の区分

- ① **総合選択制高校（職業系専門学科と普通科を併置）**：鹿沼南高校
生徒は、関心や進路に応じて、2・3年生で普通系の科目を選択履修することも可能です。
- ② **総合産業高校**：小山北桜高校
1年生は、全ての学科の基礎科目を学習し、産業全体について学びます。
2、3年生では、自分の学科以外の科目を一部選択して学習することができます。
- ③ **総合選択制専門高校**：宇都宮白楊高校 真岡北陵高校 矢板高校
生徒は、関心や進路に応じて、2、3年生で自分の学科以外の科目を選択して学習することができます。
- ④ **職業系専門高校**：栃木農業高校
農業科の4学科より構成されており、各学科の中で、それぞれの専門分野を深く学習することができます。
- ⑤ **普通科・職業系専門学科の併置校**：那須拓陽高校
普通科と農業科、家庭科より構成されています。
専門学科の中では、専門分野を深く学習することができます。

(2) 学科別学習内容

学科名	学習内容
農業経営科（白楊／矢板／ 那須拓陽） 食料生産科（鹿沼南） 生物生産科（真岡北陵） 植物科学科（栃木農業）	新しい時代に対応した作物、草花、野菜、果樹、畜産などに関する専門的な知識と技術を学びます。 ※食料生産科には草花の学習、植物科学科には畜産の学習は含まれません。
食料環境科（小山北桜）	作物・野菜・果樹の栽培方法を学ぶ食料生産コースと、草花の栽培方法や造園・ガーデニングを学ぶ環境創生コースに分かれ、食料生産と環境づくりに関する知識と技術を学びます。
動物科学科（栃木農業）	生産物を得るための動物を学ぶ生産動物コースと、人の生活に貢献する社会動物を学ぶ社会動物コースに分かれ、動物の飼育やその利用に関する知識と技術を学びます。
生物工学科（宇都宮白楊／ 那須拓陽）	植物バイオテクノロジー・動物バイオテクノロジーや微生物の利用及び養液栽培等の施設栽培などに関する知識と技術を学びます。
農業工学科（宇都宮白楊）	道路や橋などの土木構造物の設計や施工及び水や土の基本的性質など環境保全に配慮した農業土木工事などに関する知識と技術を学びます。
環境緑地科（鹿沼南）	草花の栽培や装飾、造園やガーデニング、森林環境の保全やキノコの栽培方法などに関する知識と技術を学びます。
環境デザイン科（栃木農業）	地域の自然や産業を取り巻く環境を維持・改善するために、環境や農業土木に関する知識と技術を学びます。
食品化学科（那須拓陽） 食品科学科（白楊／栃農／ 真岡北陵）	食品の特性と加工・貯蔵・流通に加え、食品の成分分析や衛生検査の方法及び食品に関連する微生物の利用と培養などに関する知識と技術を学びます。
農業機械科（真岡北陵）	各種農業機械の取扱い方法を学ぶと共に、エンジンをはじめ機械各部の構造と整備方法などに関する知識と技術を学びます。